

和歌山県庁文化国際課メールマガジン★N0.5★

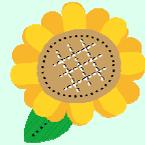
新年度になってはや四ヶ月が過ぎました。

新生活に四苦八苦していた皆さんも、少しずつ新しい環境になじんでこられたのではないのでしょうか。

申し遅れましたが、私は、この四月から文化国際課に配属された海出（うみで）と申します。中国に派遣された戸田さんに代わって、メルマガの編集を担当することになりました。

皆さんに楽しんでいただけるようなメルマガとなるよう、国際交流員の方々
と力を合わせて頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

では、ゆっくりとお楽しみ下さい。



国際交流員 座談会

文化国際課には英語・中国語・韓国語・スペイン語・トルコ語をそれぞれ担当するの5人の国際交流員がいます。普段は、各言語の翻訳・通訳や語学講座などを主に行っています。今回は、特に外国出身の3名の国際交流員が日本で感じていることをテーマに、座談会を行いました。



森：今回は国際交流員5人で座談会を行いたいと思います。特に外国出身の3人に色々聞きたいのですが、まず簡単に自己紹介をお願いできますか。

李：韓国出身の李貞玟です。日本に来て6年目です。よろしくお願いします。

メテ：トルコから来たメテです。日本に来て今年で2年目です。よろしくお願いします。

程：中国山東省青島市出身の程鵬心です。日本に来て6年半経ちました。お願いします。

森：みなさんは日本語が堪能ですが、どのように勉強してこられたのですか。

李：私は韓国の大学で日本語を専攻し、卒業後日本の岡山大学に留学しました。

メテ：トルコのボアジチ大学で国際貿易を専攻していたのですが、第2外国語として日本語を3年間勉強しました。そして、大阪の関西外国語大学に1年間交換留学をしました。トルコに戻って大学を卒業した後、すぐまた日本に来ました。

程：中国の大学で日本語を専攻し、卒業後日本に来ました。神戸で1年間日本語を勉強した後、和歌山大学教育学部で勉強しました。

中村：日本語は難しくないですか。

メテ：文法は難しくないが漢字が難しい。

程：漢字は簡単ですが、文法がとても難しいです。逆ですね。

森：韓国語は日本語と語順などが共通ですよ。

李：そうですね。語順は同じです。最初は、動詞の活用や韓国語にはない日本語独特の表現“させていただきます”が難しかったです。

中村：敬語がないということですか？

李：敬語がないのではなく、“させて頂く”という許可をもらう表現がなく、“(自分が)～します”という表現になります。考え方の違いですね。

メテ：トルコ語と日本語の文法は似ているところがあって、覚えやすかったです。発音に関しても、日本語の発音でトルコ語にないというものはないんです。逆に日本語にない発音がトルコ語にはあるので、日本人にとってはトルコ語の発音は難しいかもしれません。

李：日本語は一番発音が簡単かもしれません。数が少ないですよ。

程：発音は簡単でも、日本語のイントネーションが難しいです。(中国語のように)声調や表記がないので、感覚がわかりにくいです。中国人は日本に長くいても中国なまりがとれないと言われていました。

中村：関西弁、和歌山弁という点では？

メテ：最初は難しかったです。初めて来たのは大阪だったのですが、自分の言いたいことは言えても、相手が言ったことを理解できなかつたりしました。慣れれば大丈夫になりました。でも、和歌山はまだ違いますね。早く話す方も多い気がします。

森：みなさんがそもそも日本語を学ぼうと思ったきっかけは？

李：韓国では高校で中国語や日本語など第2外国語を学ぶのですが、その時に日本語を学んで興味を持ち、本格的に勉強するために、大学で専攻しました。

中村：高校の時はなぜ日本語を選んだのですか？

李：高校によっては選択肢があるんですが、私の高校ではなかったのです。それと日本語は韓国人にとって学びやすい言語です。中国語も経済的な面から専攻する人が多いです。

メテ：大学で国際貿易を専攻すると、英語以外の外国語を学ぶ必要がありました。いくつかの選択肢の中で、ヨーロッパの言語ではなく、全く違う難しい言語を選ぼうと。日本に対しては良い印象があり選択しました。できる人が少ないので就職にも有利かなと。

程：私も李さんと同じように高校で日本語を勉強しました。大学でも外国語を勉強しようと思ったのですが、英語は勉強している人が多く、上には上がたくさんいる。次に多いのは日本語ですが、日本は近いこともあるし、勉強するにはいいかなと思いました。

森：皆さんそのようなきっかけで日本語を学習し始め、実際留学というかたちで日本にこられたわけですが、来てみて驚いたことやカルチャーショックなどは？

李：たくさんあります。原宿や新宿に行ったときの日本人の服装に驚きました。日本人にはユニークというか個性的な人が多いと思っていたことを実感した場面でした。



程：私はみんなきちんと信号待ちをしているのに驚きました。中国でも最近だんだん守るようになってきてはいるのですが、狭い道などでは自己判断で渡ったり。



李：少し変わりますが、韓国人はせっかちで、なんでも「はやくはやく！」で、信号が変わるのも早いです。走らなくても信号が渡れる事に驚きました。韓国では間隔が短くてお年寄りなんかは渡りきれないことも。そういうところもお国柄だなと。

メテ：いろいろありますが、愛情表現ですね。トルコでは家族同士や友達同士の挨拶とか、ハグや、仲がいい場合キスとか。日本では体に触れたりしないですね。

中村：この点では中国や韓国は日本に近いですかね。

程：そうですね。中国でもそのようなスキンシップはないですね。

メテ：いいところもたくさん。時間を守ることとか。トルコでは時間が守れない人も多く、7時に会おうと言って7時30分とか40分になったり。トルコを含め地中海の人はそんなところがあります。

李：日本人は5分前・10分前とか。もっと驚くのは約束の20分前に着いたら早すぎるからと、わざわざ待って10分前にあわすところとか。そこまで！？と。

程：中国も時間を守らないことで有名です。人より早く行って人を待つというのが嫌なんです。みんながそう思うから、どんどん遅くなりますね。もちろん皆ではないですよ。

李：韓国でも同じで、“コリアンタイム”と呼ばれています。ビジネスシーンではもちろん違いますが。日本に来て、仕事もするようになり、時間感覚も変わってきました。待ち合わせが日本人か韓国人かを考えたりします。

中村：話は変わりますが、みなさん和歌山県でCIRとしてお仕事をされていますが、特に和歌山県で感じた魅力とかいいところとかはありますか。

程：自然がいっぱいで、すごく居心地がいい。都会のようにごちゃごちゃしていないし。

森：有名な観光地とかには行かれましたか？

李：白浜に行きました。大好きになったのでまた行きたいです。海がすごくきれいで、韓国の友達なんかと一緒に行きたいです。

メテ：私も海がきれいなところがすごく好きです。高野山・串本・古座川なんかに行きました。自然が多くきれいなところ。高野山は特に不思議な感じがしました。まるで映画や絵のような。白浜はまだ行ってないので、行ってみたいです。

程：私は和歌山に来てもう長いので、熊野古道以外ほとんどの観光地には行きました。熊野古道に行くことは和歌山に来てからの夢なのですがなかなか行けずにいます。

中村：昨年ガリシアからの訪問団と一緒に歩いたのですよ。すばらしかったです。

森：韓国・中国からの観光客は増えているし誘致にも力も入れていますよね。和歌山のアピールという意味で、勧めたいものは何ですか。

程：いっぱいあります。まず、高野山。中国人にとってはお墓のイメージで、行く人は少ないかと思います。でも実際に私が行ってみるとすばらしいところでした。南の方も新宮や串

本などきれいなところばかりなので、良いツアーがあればどんどん来てもらえるかと。一昨年、北海道で撮影されたある映画が中国で放映されたんですが、その後、北海道を訪れる中国人がすごく増えています。和歌山でも映画を撮ってみてはどうでしょう。

李：韓国からはゴルフをメインとしたツアーが多かったみたいですが、白浜とか熊野古道とか、若い人に知られていないと思うので、もっとPRできたらいいですね。

程：素晴らしいところがいっぱいあるのでもったいない！

李：韓国には温泉がないので、日本の露天風呂の写真なんかを見ると憧れます。

メテ：トルコは遠いこともありますが、トルコ人が観光旅行というよりもバケーションを好むことや、物価・ツアー料金が安いこともあり、難しいですね。

中村：でも和歌山はトルコとの友好関係が深い土地ですよ。

メテ：そうそう。最近よく知られていますし、来る人もいます。でも京都・奈良・大阪などにしか行かない人が多く、あまり和歌山は知られていないですね。

中村：食べ物とかはどうでしょう？

程：なんでも美味しいです。梅干しも最初は酸っぱいと思ったのですが、今は美味しいと思うようになりました。

森：中国人はお寿司とかお刺身とか生ものは？

程：私は大好きですが、中国にはないので、食べられない人もいます。でも食べられる人のほうが多いかと。和歌山は魚も美味しいですよ。

中村：梅酒が人気だと聞いたのですが。

程：はい、すごく人気です。中国のワインも甘いんですよ。そういう果実酒が人気です。

メテ：和歌山の梅酒は絶対、トルコでも世界のどこでも人気だと思います。

中村：C I Rとしても外国語を活かし、色々PRをしていけたらいいですね。



クイズ! 海外豆知識!

Q1. 車に関するこれらの言葉はそれぞれ何語でしょう？

- ①ミラ ②バモス ③タント



Q2. 北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の境に位置し、パナマ運河で知られるパナマ共和国。面積はどのくらいでしょう？

- ①沖縄県と同じくらい ②北海道と同じくらい ③和歌山県と同じくらい

さて、4年に一度のスポーツの祭典・オリンピックがいよいよ始まりました。

毎日熱い戦いが繰り広げられ、応援のために寝不足気味の方も多いのではないのでしょうか。

大変な盛り上がりを見せる日本国内ですが、他国ではどうでしょう？世界のスポーツ事情を見てみましょう！

世界のスポーツ事情

イギリスの人気スポーツと言えば、“フットボール”つまりサッカーです。日本でも有名なプレミアリーグなどのクラブチー



ムへの応援や、W杯など国際大会での代表チームへの応援は熱狂的です。また、日本ではあまりなじみがありませんが、イギリスが発祥のクリケットも大変人気があります。その他、テニスの聖地ウィンブルドン、ゴルフ選手の憧れの地セントアンドリュースはイギリスにあります。このように様々なスポーツが盛んなイギリスですが、今回、オリンピックがロンドンで開催されるとあり（3度目の開催は史上初）、その盛り上がりはいつも以上で、自国選手のメダル獲得にもかなりの期待がかけられています。

スペインと言えば、“フットボール”！

（サッカー）FIFA 国別ランキング（男子）では、堂々の1位に輝いています。



ちなみにスペイン語圏にはフットボールの強い国が沢山あり、3位ウルグアイ、9位アルゼンチン、13位チリ、20位メキシコ、23位コロンビア等の国が上位にランキングされています。（日本は30位。）しかし、オリンピック競技としてのサッカーにおけるスペインの活躍を見ると、2000年のシドニーオリンピックの銀メダルを最後にメダルからは遠ざかっています。前回の北京大会で、銀メダルを獲得したシンクロナイズド・スイミングなどともにメダルが期待されています。

トルコで一番人気のスポーツはフットボール（サッカー）です。ガラタサライとフェネルバフチェというライバルチームがあり、人気もあります。ガラタサライは、2000年にトルコのサッカー史上初めてUEFA



カップで優勝しました。また、トルコ代表チームは2002年のワールドカップと2008年のUEFA 欧州選手権で3位になったことがあり、その時は非常に盛り上がりました。次に人気があるのはバスケットボールです。トルコのバスケットボール代表チームは2010年のワールドカップで2位になりました。これらの競技は、90年代から強くなってきました。オリンピックでは、レスリングやウェイトリフティング等の競技で良い成績を収めています。過去にトルコでオリンピックが開催されたことはありません。イスタンブールが2020年オリンピック誘致を目指しており、東京とはライバルです。

中国ではバスケットボールが大人気で、体育館のある学校が少ない為、バスケットボールは屋外コートでやるのが基本です。プロチームもたくさんあり、NBAで活躍している中国人選手も複数います。ちなみに、日本の漫画『スラムダンク』は中国で最も有名な漫画の一つで、1990年の初出版にもかかわらず、今でも中国の人気漫画ベスト5に入っているほどです。また、中国の人気スポーツといえば、国技である卓球も欠かすことはできません。オリンピックにおいては、1988年に正式競技となって以降、金メダルを逃したことは殆どありません。しかし、近年では海外のレベルも上がってきており、ロンドン五輪での金メダル争いは、白熱したものになると思います。



韓国では、国技であるテコンドーを小学生の頃から習う子どもが多く、小学校の近くではテコンドー場や道着姿の男子をよくみます。今年のオリンピックでもメダルが期待されます。他にも女子6回・男子3回の連続金メダルを誇るアーチェリーをはじめ、誰もが名前を知っているパク・テファン選手が出場する水泳、柔道やバドミントン、ウェイトリフティングなどが注目されています。韓国の場合、兵役の義務があるのですが、オリンピックでメダルを獲得すると兵役を免除してもらうことができます。そのためオリンピックに出場する若い男子選手達は国の威信をかけると共に兵役の代わりに選手生活を続けるためさらに気合



いを入れて試合に臨むのかも知れません。

○和歌山県職員による「異文化体験記」○

～中国山東省済南市から その1～

この4月より和歌山県庁文化国際課から中国山東省済南市へ派遣されている戸田です。午前中は大学で中国語の勉強、午後からは山東省政府で研修を行なっています。



『留学生になる』

私にとって初めての留学生活は、とても新鮮で今でも不思議な感じがしています。韓国、フランス、ケニア、ロシア、アメリカ、メキシコ等の様々な国からいろんな年齢層の個性あふれる仲間に出会い、毎日楽しく過ごしています。“フーティエン”というのが私の中国名。戸田という字は中国でもあり、読み方が日本とは異なります。既にクラスの全員が私の名前を覚えてくれています。というのも私はよく先生から授業中に当てられるからです。“フーティエン”前で発表しなさい、“フーティエン”あなたは思う？等、僕にとって授業中は一切気が抜けません。そのため予習復習もある程度きっちりする習慣が身につきました。20人程度のクラスメートがいる前で発表する時は、とても緊張します。緊張するだけならいいのですが、緊張するあまり日本語が思わず出てしまいます。「が」や「は」といった中国語には存在しない、助詞を連発してしまい、皆から笑われてしまったことが何度もありました。

クラスで唯一の日本人である私は、様々な質問を受けましたし、皆が日本に対しとても関心を寄せてくれていることを知りました。「日本の自動車メーカーについて教えて欲しい」「自分は日本の歴史に興味があり織田信長を知っている」「日本のアニメはとても面白い」等、各方面で日本が注目されています。そんな時、私は少し嬉しく、そして、ちょっぴり誇らしい気持ちになります。

まだまだうまく話せず、もどかしい思いを何度もしていますが、勉強するにつれ、自分の考えや意見をより正確に表現できるようになってきています。まるで子供に戻ったかのような様ですが、毎日少しずつ自分の世界が広がっていく感覚が、懐かしく、とても面白く感じています。

☆中国と日本☆ー中国語と日本語ー

「中国って日本とどこが違うんやろ？」って考えたりするのですが、まだまだ私は、中国に来て数ヶ月でわからない部分がたくさんあります。でも、街の人はやさしいし、よく行く飲食店の店員さんは気さくに話かけてくれます。また、日常生活を送る上で、「これは困ったー」なんて思った事は一度もありません。そんな中で、これは日本と違うかなと、思うのは、会話の中での表現の違いです。よく学校の先生は「对不对（トウイブトウイ）」「正しい？正しくない？」と私たち学生に問うし、中国式のハンバーガーを買うときには、店員さんが「辣椒（ヤオブヤオーラァーアオ）」「唐辛子は要る？要らない？」と聞いてきます。他にも、行く？行かない？有る？無い？等、直接的な聞き方が多いように感じます。

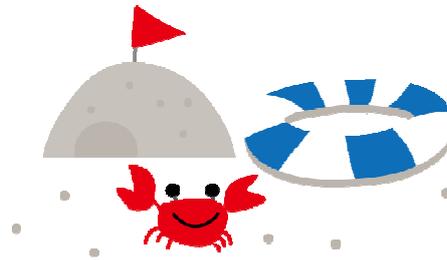
日本で1年中国語を勉強してこの事を知っていたものの、現地でいざ、こうした聞かれ方をされた時は、戸惑ってしまいました。日本では、間接的な表現が多く使われ直接的な表現はあまり使われないためです。でも、すでに中国に来て3ヶ月、今ではすっかり違和感がなくなり、「要！（ヤオ）“ほしい”」「不要！（ブヤオ）“要らない”」等、すぐに答えを返せるようになりました。

皆さん、文化国際課メールマガジン No.5 はいかかでしたか？

盛りだくさんの内容でしたが、中でも国際交流員さんの座談会では、改めて、日本と外国の間にある様々な文化の違いに気付かされました。

「違い」というと聞こえは悪いですが、国際交流員の皆さんも、中国で奮闘している戸田さんも、文化の違いに戸惑いつつも、それを目一杯楽しむことで、異国での生活を満喫しているように思います。

外国で生活したことのない私にとっては、このことが少し羨ましく感じました。それでは次回もお楽しみに！！



クイズ! 海外豆知識! の解答

Q1. 全てスペイン語です。それぞれ①見て!②レッツゴー③それほど多く、
という意味です。

答え：②北海道と同じくらい（北海道の方がやや大きい）
ちなみに人口は約345万4千人で静岡県の人よりやや少ないです。

